

Pal

～仲間



2020
Summer Edition
Vol.106

2020年(令和2年)6月30日発行

国際交流サロンは、8月1日(土曜日)から一般開放を再開します!、日本語教室の再開状況 ……	1
外国人市民の様子、国際化協会の取り組み、新着図書のご案内 ……	2
外国人市民インタビュー ……	3
公益財団法人 大和市国際化協会からのお知らせ ……	4

発行 ■ 公益財団法人 大和市国際化協会
〒242-0018 大和市深見西1-3-17
市民活動拠点ペテルギウス北館1階
TEL 046-265-6051 FAX 046-265-6052
URL : <http://www.yamato-kokusai.or.jp>
Email : pal@yamato-kokusai.or.jp



WASH HANDS

入室前の手洗い・消毒をお願いします。



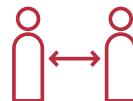
MEASURE

ご自宅での検温など、ご自身の体調管理をお願いします。



OPEN DOOR

換気とエアコンを併用します。暑さ対策にもご注意ください。



KEEP DISTANCE

マスクの着用、身体的距離(最低1m)の確保をお願いします。

国際交流サロンは、8月1日(土曜日)から一般開放を再開します!

あわせて、第1,3土曜日及び毎週火曜日、木曜日の夜間開館(～20:15まで)も再開します。

市内小中学校で外国につながる児童生徒への学習支援を行う「日本語・学習支援ボランティア」の活動は、6月末から、感染防止対策の整った学校から順次派遣を再開しています。

国際交流サロンにおける外国人市民の日本語学習を支援する「日本語ボランティア」の活動は、8月1日から再開します。

再開にあたり、机や椅子の間隔を広く取るため、15名の定員制限を設けます。利用する際は一定の間隔を空けるように座っていただく必要がありますので、学習者、ボランティアの方々にはご不便をおかけしますが、ご了承ください。

国際化協会の新型コロナウイルス対策について

職員は、マスクを着用し、検温、手洗い・うがいの実施など自己の健康管理に努めます。また、サロン内の清掃、消毒を行います。こちらについては、利用される皆さんにもご協力をお願いします。

大和市で活動している日本語教室の再開状況

いずれの教室も、感染対策を整えた上で、使用している施設の感染防止ガイドラインに基づき活動が再開されます。

かけはし

7月10日(金)から活動を再開し、7月24日から8月14日までが夏休みです。
毎週金曜日 10:00～12:00 保健福祉センター4階ほか
詳細は、代表の仙田さん 046-205-3990にお問い合わせください。

大和日本語教室

7月より教室を再開しますが、新規生徒の受け入れは9月からになります。
毎週日曜日 10:20～12:30 保健福祉センター4階ほか
詳細は、かながわ難民定住援助協会 046-268-2655にお問い合わせください。

かたつむりの会

引き続き活動を中止しています。再開の時期については、8月下旬に決定します。
毎週土曜日 11:00～13:00 生涯学習センター(シリウス6階)
詳細は、かながわ難民定住援助協会 046-268-2655にお問い合わせください。

らんどせる

会場となる教室が使用できないため、引き続き活動を中止しています。
毎週日曜日 11:00～13:00 渋谷学習センター(IKOZA3階)
詳細は、かながわ難民定住援助協会 046-268-2655にお問い合わせください。

やまびこ

現在再開時期については検討中です。7月2日に決定します。
毎週木曜日(祝日、第5木曜日休み) 19:00～20:30 保健福祉センター4階
詳細は、小川さん ☒ gaachanh@yahoo.co.jpにお問い合わせください。

南林間にほんごひろば

現在再開時期について検討中です。7月上旬に決定します。
毎週水曜日 18:00～19:30 保健福祉センター4階
☒ nihongohiroba2016@outlook.comにメールを送信して詳細をお問い合わせください。

つきみ野あいうえお

引き続き活動を中止しています。再開の時期については、8月下旬に決定します。
第1～第4金曜日 13:30～15:00 つきみ野学習センター
詳細は、代表の山岡さん 046-269-5435にお問い合わせください。

つま読み書きの部屋

10月から始まる講座(月曜夜クラス・火曜昼クラス 各全5回)の再開を検討しています。
詳細は、大和市役所 国際・男女共同参画課 046-260-5164にお問い合わせください。

外国人市民の様子、国際化協会の取り組み

「これ以上、新型コロナウイルスが広まったら、どこに相談に行けばよいのか？」

「今まで3年以上も、3ヶ月毎に更新しながら同じ会社で働いていたのに、次の契約は1ヶ月で、しかもその次は更新しないとされた。状況が落ち着いたらまた雇ってほしいと会社の人に手紙を書きたい。」

「子どもが心配だから、学校に通わせたくない。」

3月に入ってから、新型コロナウイルスに関連して、外国人市民からの相談が多く国際化協会に寄せられるようになってきました。未就学児対象のプレスクールに子どもを通わせていたある保護者は、まだ感染が拡大していない2月の時点で参加を見合わせました。一般的に外国人は日本社会とのつながりが少ないため、地域の情報を受け取る機会や経路が少なく、届いたとしても日本語がむずかしくて理解できないことがあります。出身国である中国本土で感染が止まらず、ロックダウンの真っ最中だったため不安を募らせたようです。日本で暮らしているながら、母国メディアや母国語を介して情報を受け取っている日常がうかがえます。

4月以降は特に「失業して家賃が払えない」、「収入が減って生活が苦しい」という生活困窮の相談が目立つようになりました。ある外国人は自動車部品の下請け工場で働いていましたが、需要の激減のため解雇されました。一人親方の自営業で電気配線などの仕事を請け負っている外国人は、建設工事現場がストップしたため収入がゼロになりました（自営業のため失業手当もありません）。また、専門学校に通う留学生の中にも、アルバイトの雇い止めにあたり、シフトを減らされたりするなど、経済的な苦境に立たされるケースが確認されました。観光業界の企業に就職が決まっていた数名の留学生は内定を取り消されました。

もともと地縁や血縁関係の少ない外国人市民は、生活基盤が脆弱になりがちです。少子高齢化の進む日本の活力として、外国人に労働力としての期待を寄せ、受け入れを進めているながら、「雇用の調整弁」と形容し、真っ先に解雇する状況は、10年前のリーマン・ショックの頃から変わっていません。

これに対して国際化協会では、国際交流サロンの閉館中も通訳窓口だけは開設し、外国人市民からの相談への対応を続けました。また、非対面でも情報を提供できるよう、ホームページ、ラジオ、情報紙、FacebookやEmailなどを活用した情報提供に力を入れました。

国内感染が確認され始めた当初は生命を守る観点から感染防止策と感染が疑われる場合の対処の仕方や専門窓口などの情報をお知らせしていましたが、自粛期間が始まったころからは、個人で利用できる支援制度は何かあるのかなどの、生活に直結する情報にシフトしています。

また、日本語を勉強したいというリクエストも、多く寄せられています。再就職へ向けては、日本語力が要求される場面が多くなるからです。日本語ボランティアによる国際交流サロンでの1対1の学習は、現在も中断中ですが、Skypeを活用してのオンラインレッスン希望者が多く、ボランティアが足りない状態が続いています。

これから先、国際化協会でも、その場限りの支援とならないよう、既存の取り組みに加え、関係機関との連携を強化し、市民を含めた地域全体に多文化共生社会のあり方を示していくとともに、外国人自らが支え合うことができるコミュニティ支援や外国人の生活基盤を支える自立支援などを進めて行く予定です。

ここにいるのは、生活も家族もある「人」です。コロナ禍を奇貨とし、地域に暮らす外国人市民を取り巻く社会構造を変えるために、地域全体でもう少し真剣に、考え、取り組まなければいけない時期に差し掛かっていることを痛感します。



新着図書のご案内 ●こんなときこそ本を読もう●

国際化協会の蔵書、新着書籍をご紹介します。貸し出しも行っていますので、お気軽にご相談ください。

「どうやって教える？」にお答えします 日本語の教え方ABC
寺沢和子、三上京子、山形美保子、和栗雅子著
《アルク》



国際交流サロンの休館中に、ちょっと古くなっていた「みんなの日本語」の最新版を取り揃えました。その他にも、日本語ボランティア養成講座や日本語教授法ブラッシュアップ講座でおなじみのほんごの会企業組合宿谷先生におすすめていただき、地域でボランティアとして活動する指導者向けの教則本や、漢字学習に役立つ教材を充実させています。

MARCH [マーチ]

①非暴力の戦い ②ワシントン大行進 ③セルマ 勝利をわれらに
ジョン・ルイス、アンドリュー・アイディン著 ネイト・パウエル画
押野素子訳 《岩波書店》



作者は現在もアメリカの下院議員を務め、1950～60年代にマーティン・ルーサー・キング牧師と並んでアフリカ系アメリカ人の公民権運動を率いたジョン・ルイス。自身の半生と1965年、黒人への投票権が認められた投票権法成立までの戦いを記録したグラフィックノベル(漫画)です。アメリカの人々のみならず世界で日に日に規模を拡大する人種差別への抗議運動BLM (Black Lives Matter)理解の一助に。

生きる冒険地図 プルスアルハ著 《学苑社》



「周りに頼る大人がいない子どもたちだけでなんとか毎日を暮らしているMIRU(みる 中学生)とIRU(いる 小学生)は、どここのまちにもどこの学校にもいる。でもだれにも見えないMIRUとIRUは生きるために頼れる大人を見つける冒険へ」
精神障害を抱える親とその子を支援しているNPO法人ぶるすあるはが作った、頼れる大人が周りにいない子どもたちに、その日その日を生き抜くための「知恵と工夫」を伝えるための本。外国で頑張って働く親とその子どもたちの周りにいるわたしたちが頼れるおとなになるために知っておきたいことがたくさん書かれています。

ふるさとして呼んでもいいですか 6歳で「移民」になった私の物語
ナディ著 《大月書店》



ナディさんは、6歳の時にイランから家族と一緒に日本に来ました。三人姉弟の長女で、弟たちの面倒をよく見るしっかり者。お父さんとお母さんはあまり日本語が上手じゃなくて、いつも一生懸命働いていて、周りのうちとはなんか違う。もしかしてちょっと自分のことみたい？
オーバースティの状態で過ごした小中学生時代のこと、日本人？イラン人？と悩んだ高校・大学時代のこと…。ナディさんと同じく、日本で育つ外国につながるを持つあなたに読んでもらいたい1冊です。だいじょうぶ、ナディさんはちゃんと日本で幸せに暮らしています。

外国人市民インタビュー

ティアラ・サリさん

新しい旅立ちへ 虎穴に入らずんば虎子を得ず



私の名前はティアラ。インドネシア出身のイスラム教徒です。一年半前に夫と共に来日しました。インドネシアでは二つの病院で救急科の医師をしていました。日本へ引っ越すという私の決断は、人生が一変するような事です。決して簡単な事ではありませんが、冒険をしなければ何も得られません。人生経験から学んだのは、与えた分に応じて何かを得るという事です。

来日前：医師の人生の喜びと悲しみ

私は中学生の頃から生物学と生命科学に夢中でした。学校の教科としてだけでなく、人間についてもっと知りたいと思い一生懸命に勉強しました。科学には驚かされます。人間、動物、植物が持ついろいろなしくみは実際には非常に複雑で、他のものに莫大な影響を与えます。それを知った瞬間、私は医者になりたいと思いました。

医者や医療専門家として働くことはとても過酷です。教育を受けるには沢山の時間を要します。医学部に6年間、インターシップに1年間、さらに4年間の特定分野での研修期間があります。そして、仕事自体は夜勤、土日出勤、そして休日出勤など、いくつかの就業時間があります。注意力と体力が要求されます。医学は学位を取得した後も勉強し続ける必要がありますので、「生涯学習」です。医学は常に進化・発展しています。仕事は単なるキャリアではなく、人生そのものです。

仕事は非常に難しいですが、人の手助けになれることで私にとってやりがいがあります。多くの困っている人たちを助けることで人間に対する好奇心と私自身の心が満たされます。患者さん、特に子どもや赤ちゃんが元気になったり笑顔になったりする度にこの上ない幸せを感じます。

来日後：新しい人生探しと準備

私は結婚してから主人と共に日本へやってきました。最初はジェットコースターに乗っているような感覚でした。不確かな可能性に対する不安や恐れはありましたが、同時に将来への期待と興奮を感じました。

将来へつながるような機会を見つけるには自分で準備する必要があります。そこで私は日本での生活についての知識を身に着けることにしました。日本での最初の三か月間は日本での生活についての本を読むために毎日公立の図書館へ足を運びました。日本の歴史、文化、祝日、さらには政治や経済についての本を読みました。

ある日、図書館を訪れると、ある老人が日本語で何かを尋ねてきました。私は何も理解できずに、ただ笑顔でうなずきました。それでも彼は話し続けるので私は日本語が全く話せないと伝えました。すると彼は理解し、微笑みました。私はとても申し

訳なく思い、この出来事が日本語を真剣に学ぶモチベーションになりました。そして大和市国際化協会日本語を学ぶことにしました。ここでは沢山の楽しい経験をしました。スタッフの方々や先生はとても親切で、私をいくつかのイベントに招待してくれました。

日本とインドネシアで新型コロナウイルスが大流行

2020年1月中旬に新型コロナウイルスの大流行が世界を襲いました。2020年1月16日に政府は日本での最初の感染例を確認しました。その後いくつかの公衆衛生規制が実施されました。例えば政府は国民に3つの密（密閉・密集・密接）を避けて物理的な距離を取るよう呼びかけました。安倍首相は2020年4月16日に日本全国に向けて緊急事態宣言を発表しました。この期間、私は主人と自宅でご過ごし、不要な外出を避けました。マスクをして周りとの身体的距離を取りながら週に1回、食料品や日用品を買いに行っていました。自宅で仕事をし、インドネシアにいる家族と連絡を取り合っていました。

一方、インドネシアでは2020年3月2日に発表された初の新型コロナウイルスの感染に続き、感染者が急増していきました。日本同様、インドネシアでも全国的なロックダウンを実施しましたが、代わりに「大規模な社会的制限」がありました。（インドネシア語で Pembatasan Sosial Berskala Besar）この規制により、政府は結婚式など、文化的または宗教的な大規模な集まりを禁止しました。さらにショッピングモールや寺院を閉鎖し、国民へ自宅でご過ごすよう呼びかけました。5月下旬からインドネシア政府は依然として苦労しながらも全国へ「ニューノーマル（新しい日常・新生活様式）」を実施しました。インドネシアでは2020年6月16日までに40,400人の感染者がおり、死亡者は2,231名にのぼっています。

インドネシアにいる家族や友人たちのことがとても心配です。しかし、お互いに連絡を取り合い励ましあっています。この困難の中、日本、インドネシア、そして世界の人々のために祈っています。

今私は、日本で多くの人々の手助けをしたいと思っています。もし日本で修士号を取得したら自分自身の知識とスキルでより多くの人たちを助けることができるかもしれません。同時に家族や赤ちゃんの世話も楽しみながらやりたいと思っています。



夫のファジャさんと

公益財団法人 大和市国際化協会からのお知らせ

月曜日、サロンは
お休みです

9:00~16:00
ベトナム語

10:00~13:00
タガログ語

10:00~13:00
中国語

9:00~17:00
スペイン語

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため、国際交流サロンについては7月31日まで一部休館します(6月25日時点)。						
■多言語による通訳窓口とやさしい日本語による相談業務、翻訳の受付、通訳ボランティアの派遣は通常通り実施しています。						
■国際交流サロンでの「日本語・学習支援ボランティア」及び「日本語ボランティア」の活動は一時中止しています。						
■小中学校での「日本語・学習支援ボランティア」の活動は、活動を再開しています。						
26	27	28	29	30	31	

						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

土曜開庁日

■公益財団法人大和市国際化協会
〒242-0018
神奈川県大和市深見西1-3-17
市民活動拠点ベテルギウス北館1階
Tel: 046-265-6051
Fax: 046-265-6052
Email: pal@yamato-kokusai.or.jp
http://www.yamato-kokusai.or.jp
受付時間 月・水・金 第1、3土曜日
8:30~17:00
火・木 8:30~20:15



ピックアップ!

①開催日時 ②開催場所 ③費用 ④内容 ⑤講師
⑥対象 ⑦定員 詳しくは、国際化協会のホームページ
(http://www.yamato-kokusai.or.jp/)でご確認ください。お
問い合わせ、お申込みは、電話、窓口、Fax、Emailで受け付けます。

注意

新型コロナウイルス感染拡大の状況によっては、開催日時を変更することがありますのでご了承ください。詳しくは事務局までお問い合わせください。また、最新情報をホームページ及びフェイスブックで随時提供しています。



ホームページ



フェイスブック

夏休み子ども教室 ボランティア募集

①8月12日(水)、13日(木)、14日(金) 9時30分から11時30分 ②国際化協会 ③交通費実費を支給 ④外国につながる小中学生への学習支援。自習スタイルの教室です。

やさしい日本語講座～相手に伝わる「やさしい日本語」～

普段使われている日本語を外国人にも伝わりやすいように調整したものが「やさしい日本語」。英語などの外国語だけでなく、よりわかりやすく伝える手段の一つとして使われています。今回は相手と話すときの日本語文法に目を向けてみます。

《日程を変更しました》①9月13日(日)午後1時30分から午後4時 ②国際交流サロン ④「やさしい日本語」について学ぶ ⑤聖心女子大学教授 岩田一成先生 ⑥日本語ボランティアや関心のある方など ⑦20名 先着順に受け付け、定員になり次第締め切り。

日本語ボランティア教師養成講座受講生募集

《オンラインでの参加が可能になりました》

①9月1日、8日、15日、29日、10月6日、13日、20日、27日、11月10日、17日 毎週火曜日 午後6時30分から8時30分 全10回(9月22日は休講) ②ベテルギウス北館1階会議室 ③参加費 1,000円(資料代込み) ④にほんごの会企業組合 宿谷和子先生 感染防止対策を取った上での講義形式(直接参加)およびオンラインライブ配信 ⑦直接参加:12名 オンライン参加:18名程度直接協会窓口、電話、Emailで先着順に受け付け。定員になり次第締め切りします。申し込み時に、直接参加またはオンライン参加のいずれかを選択してください。

外国人市民サミット

①9月27日(日) 午後1時30分から午後4時 ②大和市役所5階研修室 ③大和市長を交えた外国人市民の懇談の場 ⑥市内在住・在学の外国人市民 ⑦25名(日本国籍を取得した方も含む)

※今回は新型コロナウイルスの流行が懸念される社会情勢のため、開催の可否を検討中です。決まり次第、当協会ホームページでお知らせいたしますので何卒ご了承ください。

やまと世界料理の屋台村の出店者募集について

10月25日(日)に開催を予定しておりますが、今回は新型コロナウイルスの流行が懸念される社会情勢のため、開催の可否を検討中です。決まり次第、広報やまと8月15日号及び当協会ホームページでお知らせいたしますので何卒ご了承ください。